

シンプルコールTrad/TAXI

製品型番

シンプルコール Trad:JK-4308

シンプルコール TAXI:JK-4309

取扱説明書

Rev 1.01 (2021 年 10 月版)

株式会社 **ハネロン**

(文書番号:20013Z003)

はじめに

この度はお買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は、間違った使い方をすると火災や感電などにより人身事故につながることもあり大変危険です。

事故を防ぐため、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後は、本書を大切に保管してください。

※本製品は、電波法に基づく技術適合証明及び電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けた通信機器を内蔵しております。

※本書に記載してある会社名、製品名（商品、サービス名）は、各社の商標または登録商標です。

※本書の記載内容については、機能追加や改善のために予告なく変わることがあります。

保証範囲

- 1) 「シンプルコール Trad(型番：JK-4308)/シンプルコール TAXI(型番：JK-4309)」(以下本機と表記します) は、ご購入日から起算して 12 ヶ月以内に発生した製造に起因する故障については無償修理とします。

本機をお買い上げの販売店へお送りいただき、修理完了後に返却させていただきます。

- 2) 上記無償修理期間経過後あるいは、取扱不注意による故障については有償修理とさせていただきます。

免責事項

- 1) 本機は無線電話回線（VoLTE）を利用した電話機です。回線のトラブルや電波障害により万一電話できなくても、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 2) 本機の故障・誤動作・不具合あるいは停電などの外部要因によって電話の機会を逸したために生じた損害は、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 3) 本機に起因して周辺機器に障害が発生しても、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 4) 本機の使用に応じて発生した通話料、データ・SMS 通信料に対して、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 5) 本体に成型時の傷がついている場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全のために必ずお守りください

この「安全のために必ずお守りください」は、お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。ご使用の際は、必ず記載事項をお守りください。

次の表示区分は、表示内容を守らずに誤った使い方をした場合に生じる危険や傷害の程度を説明しています。

 警告	この表示の注意事項を守らないと死亡または重症を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示の注意事項を守らないと障害を負う可能性または物的・金銭的損害のみの発生が想定される内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告  本機を使用する際、最初に本機へ UIM カード(SIM)を組み込んでください。その際、本機の電源が入った状態での UIM カードの挿抜は、決して行わないでください。  本機の分解や改造はしないでください。正常に動作しなくなる恐れがあります。  水分や湿気が多い場所では本機を使用しないでください。  プロパンガス・ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用しないでください。  人命や財産に大きな影響が予測され、特に安全性が要求される用途には使用しないでください。  濡れた手で本機に触らないでください。感電の危険があります。  電源は仕様の範囲内で安定した入力をご供給してください。  万一、発煙や異臭などの異常が発生した場合は、直ちに電源の供給を止めてください。	 注意  次の場所には設置しないでください。 強い磁界の発生するところ・静電気が発生するところ・振動が発生するところ・直射日光があたる場所・火気の周辺・熱気や湿気のこもる場所・漏電や漏水の危険がある場所。  日本国内でのみ使用してください。海外では使用できません。  本機の電源を切る際は、本書に記載の手順で操作してください。 いきなりの給電停止は故障の原因となります。  静電気による破壊を防ぐため、本機に触れる前に、身近な金属に手を触れて体の静電気を取り除いてください。  必ず仕様範囲内の温度・湿度で使用または保管してください。  無線通信機器(LTE 通信モジュール)を使用していますので、電波環境や周辺機器への影響を充分に考慮してご使用ください。  電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内での使用については各医療機関の指示に従ってください。  植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から本機を 15cm 以上離して使用してください。  自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認してください。 (電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、医用電気機器に悪影響を及ぼす原因になります。)  本機を廃棄する際は、各地方自治体の条例に従って処理してください。
---	---

- 本機内蔵の LTE 通信モジュールおよびアンテナは、特定無線設備の技術基準適合証明を受けています。改造して使用されますと電波法違反となりますので、絶対に行わないでください。
- 本機で通話 (VoLTE 方式) するためには、「標準サイズの UIM カード(SIM)」が必要となります。本機へ取り付けいただく際、IC (金色の部分) に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。

= 目次 =

1	概要	1
2	同梱物（付属品）	1
3	別途ご用意いただくもの	1
4	外観	1
5	ご運用いただくまでの準備（電話機のセットアップと設置）	3
6	設定ソフトの使用準備	4
7	本機のコネクタ、操作用スイッチ、UIMカードソケット	5
8	本機を設定用モードで起動する方法	6
9	設定ソフトを用いたパラメータ設定方法	6
10	本機の操作方法	9
11	本機の仕様と機能	10
11.1	一般仕様.....	10
11.2	LED点灯パターン.....	11
11.3	メンテナンス用の機能.....	12
11.4	受話器（通話時）の音量設定.....	12
12	うまく動作しないとき	13
13	改訂履歴.....	16

1 概要

シンプルコール Trad(型番：JK-4308)/シンプルコール TAXI(型番 JK-4309)は、直通専用電話機です。
(LTE 通信モジュールを搭載した VoLTE 通話用の電話機です。)

- 受話器を上げるだけで、あらかじめ登録された通話先（電話番号）へ電話を掛けることができます。
受話器を上げる時間帯に応じて、別の通話先（電話番号）へ電話を掛けることもできます。
- 電話の着信を受け付ける条件を任意に設定できます。（特定の相手からのみ受け付けるなど）
- 本機は、AC アダプタを電源に挿すだけで運用いただけます。
- 電波感度と本機の動作状態を LED で確認いただけます。

2 同梱物（付属品）

No.	品名	仕様	員数
1	電話機本体	LTE 通信モジュール内蔵	1 台
2	AC アダプタ	入力：AC100～240V(50/60Hz)、出力：DC12V(1.0A)	1 個
3	取説/保証書	用紙サイズ A4（両面）	1 部
4	設定用ケーブル	USB ケーブル（[B]オス⇄[A]オス）	1 本

※「AC アダプタ」は本体に取り付け済みです。

※「設定用ケーブル」は、当社でキッティング作業を請け負う場合、付属品に含みません。

3 別途ご用意いただくもの

別途、次のものをご用意ください。

No.	品名	内容
1	標準サイズの UIM カード(SIM)	VoLTE 通話用のプランを契約（sp モード接続を想定）

※LTE 網を利用して VoLTE 通話します。

※「sp モード」で LTE 網に接続することを想定していますが、その他（moperaU など）へ
接続する UIM カードを使用することもできます。（接続条件の設定変更で利用可能）

4 外観

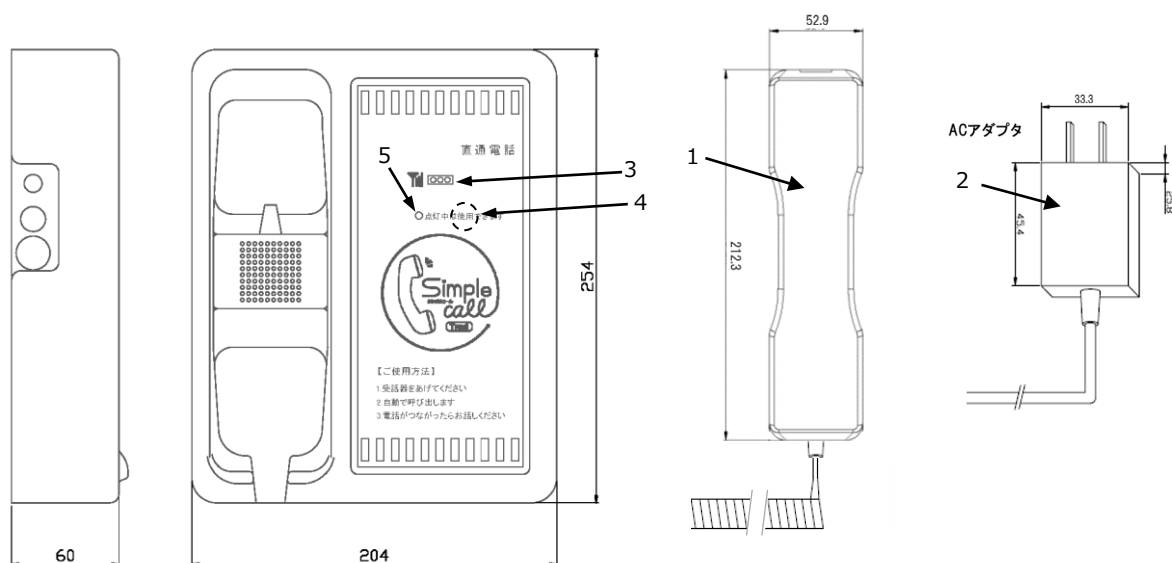


シンプルコール Trad（JK-4308）



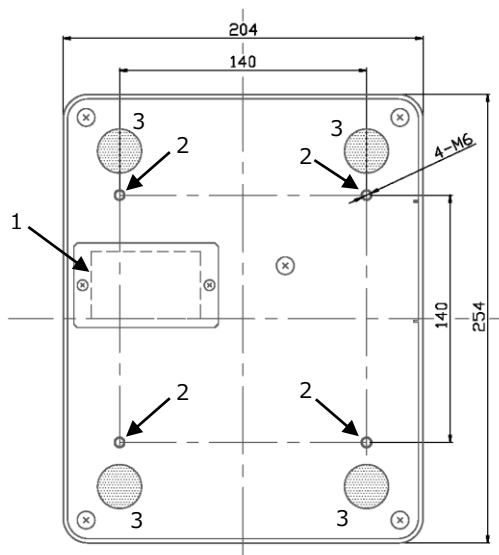
シンプルコール TAXI（JK-4309）

● 各部名称



1	受話器
2	ACアダプタ
3	アンテナ LED (電波状態表示)
4	シャットダウン用隠しスイッチ
5	状態表示 LED

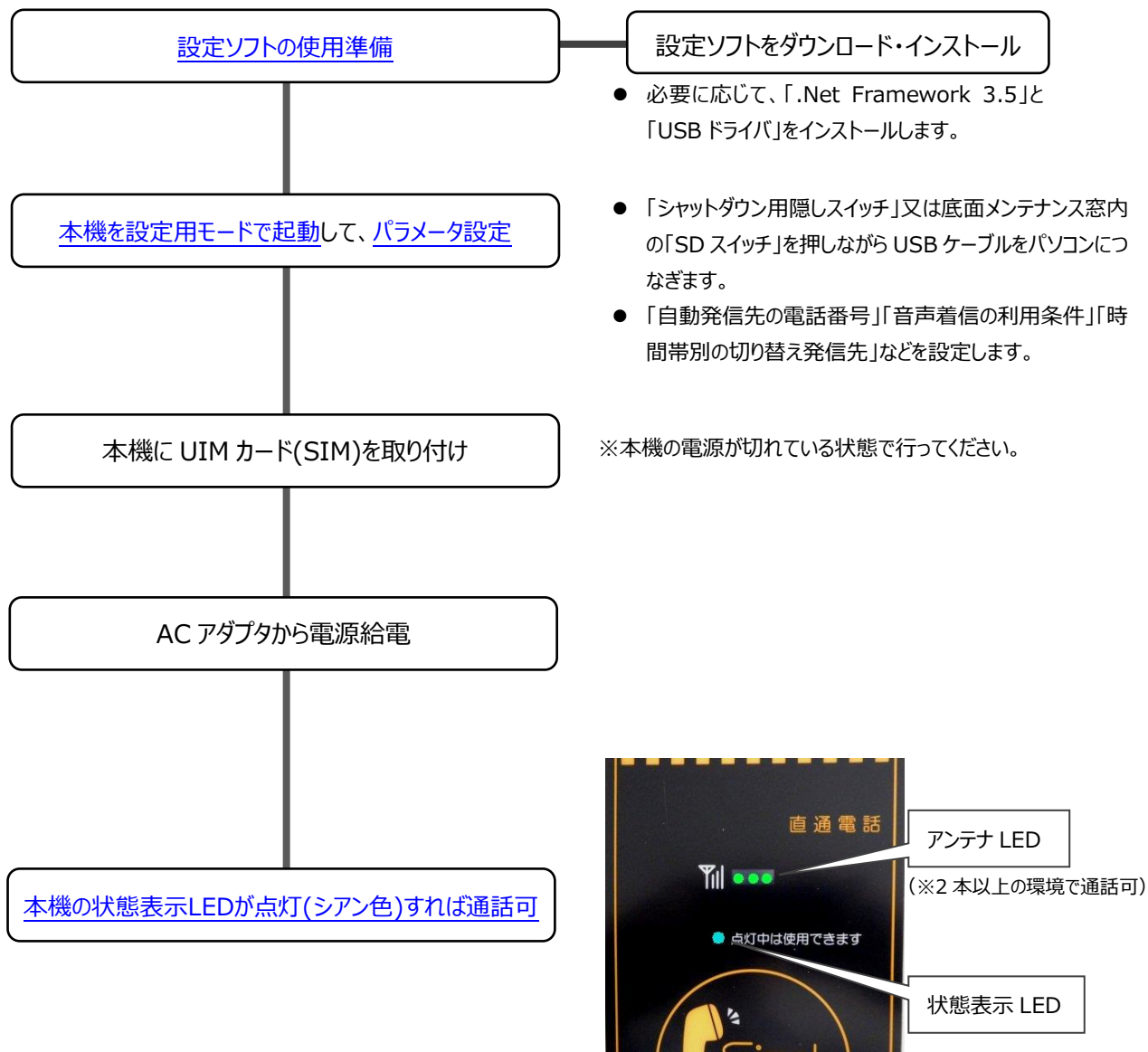
<底面>



1	メンテナンス窓カバー
2	台座固定用雌ネジ (M6)
3	ゴム足

5 ご運用いただくまでの準備（電話機のセットアップと設置）

設定ソフトの使い方・設定内容については、「シンプルコール(シリーズ)設定ソフト取扱説明書」をご参照ください。



6 設定ソフトの使用準備

パソコン（OS：Windows）上で動作する専用の設定ソフトを用いて、本機のパラメータを設定します。

- 設定ソフトは、当社のホームページから入手いただけます。

株式会社ハネロンホームページ <https://www.haneron.com/>

(1) 画面上部にある「ダウンロード」をクリックし、「DOWNLOAD」画面を開く。



(2) シンプルコール(シリーズ)用の「設定ソフト(インストーラ)」「取扱い説明書類」をダウンロード。



- 設定ソフトのインストーラファイル（*.exe）を実行して、パソコンにインストールします。
（※スタートメニュー（「DMA World」内）とデスクトップに「シンプルコール(シリーズ)設定ソフト」が追加されます。）
- 必要に応じて、以下のソフトを別途インストールします。

(A) 「.Net Framework 3.5」.... 入手/設定方法は OS の種類で異なります。

(B) 「USB ドライバ」.....FTDI 社ホームページから入手 <http://www.ftdichip.com/Drivers/D2XX.htm>

詳細内容については、「シンプルコール(シリーズ)設定ソフト取扱説明書」をご参照ください。

- ・上記に記載の中で「本体との接続のしかた」については、本書の「8 本機を設定用モードで起動する方法」を参照ください。

7 本機のコネクタ、操作用スイッチ、UIM カードソケット

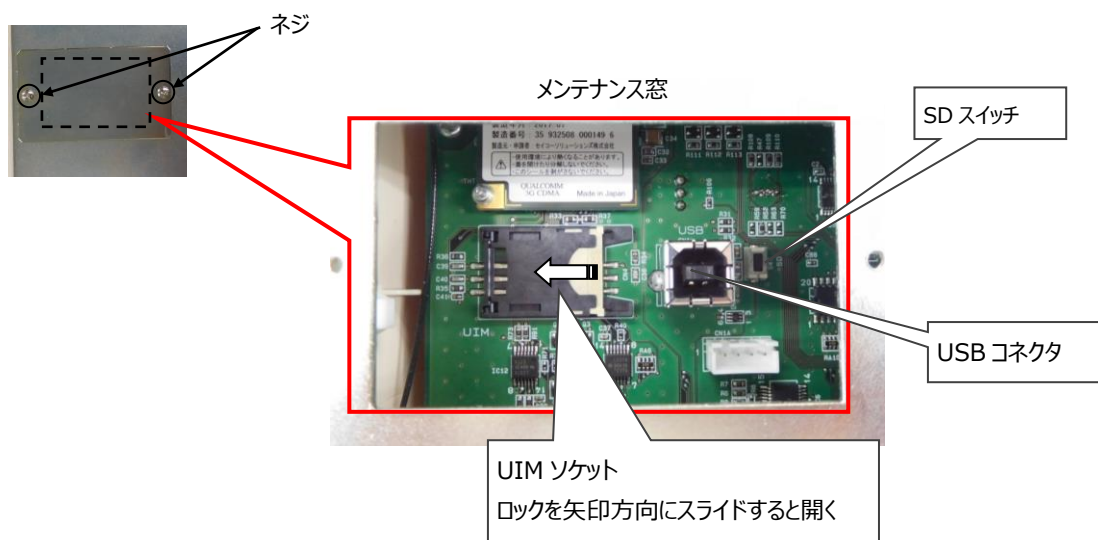
(1) シャットダウン用隠しスイッチ



本機の電源を切る際は、当スイッチを長押ししてシャットダウン動作を行ってください。（メンテナンス窓内の SD スwitch と同機能）

(2) 底面メンテナンス窓内

ネジ 2 箇所をゆるめてメンテナンス窓カバーを外すと下記スイッチ、コネクタ、ソケットがあります。



● UIM カード装着



UIM カード（出荷時期により色は異なります）
切り欠きの向きを合わせてセットし、ソケットを閉じて
ロック（右にスライド）する

※ UIM カードの脱着は、必ず本機の電源が切れている状態で行ってください。

8 本機を設定用モードで起動する方法

次の操作（手順）を実施いただくことで、本機を設定用モードで起動できます。

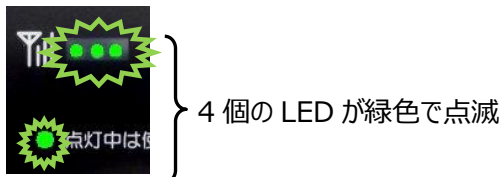
【設定用モードで起動する手順】

- (1) 「シャットダウン用隠しスイッチ」又は底面メンテナンス窓内の「SD スイッチ」を押した状態で、パソコンと本機を USB ケーブルで接続します。

（※USB 給電によって、本機に電源が入ります。）



- (2) LED（4 個全て）が緑点滅になれば、「設定用モード」で起動したことを表しています。



- (3) 上記の点滅状態を確認した後に、SD スイッチから手を離します。

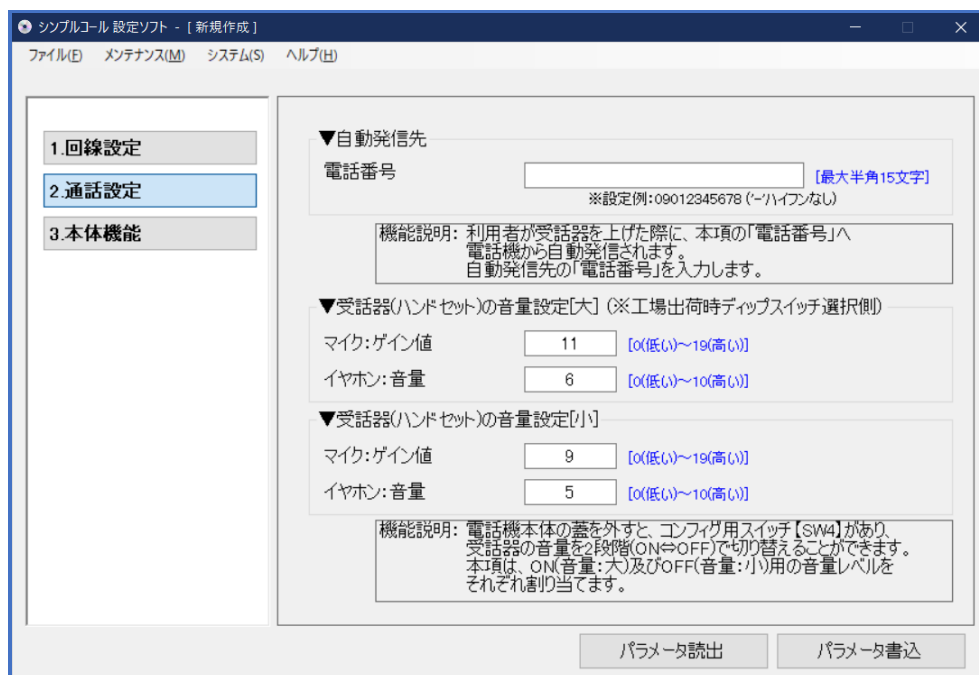
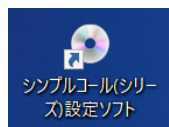
※設定用モードを終了する際は、USB ケーブルを外してください。（USB 給電停止で電源が切れます。）

9 設定ソフトを用いたパラメータ設定方法

- ここで説明する内容は、通話できるようになるまでの最小限の機能(範囲)に限定しています。
- 設定できる機能の詳細は、「シンプルコール(シリーズ)設定ソフト取扱説明書」をご参照ください。

次の設定を実施いただくことで、受話器をあげて通話できる（自動的に電話を掛ける）ようになります。

- (1) 本機を設定用モードで起動しておきます。
- (2) パソコンにインストールした設定ソフトを起動します。
- (3) 以下の画面で立ち上がります。



(4) 受話器をあげた際に自動で電話を掛ける相手先の電話番号を設定します。（「ハイフンなし」で入力）

▼自動発信先

電話番号 [最大半角15文字]
※設定例:09012345678 (ーハイフンなし)

機能説明: 利用者が受話器を上げた際に、本項の「電話番号」へ電話機から自動発信されます。
自動発信先の「電話番号」を入力します。

▼受話器(ハンドセット)の音量設定[大] (※工場出荷時デフォルトスイッチ選択側)

マイク:ゲイン値 11 [0(低い)~19(高い)]

イヤホン: 音量 6 [0(低い)~10(高い)]

▼受話器(ハンドセット)の音量設定[小]

マイク:ゲイン値 9 [0(低い)~19(高い)]

イヤホン: 音量 5 [0(低い)~10(高い)]

機能説明: 電話機本体の上蓋を取り外すと、【CF0 ON(SW4)】スイッチがあり、受話器の音量を2段階(ON⇔OFF)で切り替えることができます。
本項は、ON(音量:大)及びOFF(音量:小)用の音量レベルをそれぞれ割り当てます。

(5) 「3.本体機能」をクリックして、画面を切り替えます。

音声着信のご使用条件に合わせて設定します。（電話番号を入力する際は「ハイフンなし」とします。）

- (A) 音声着信を受け付けない場合、変更不要です。（画面にある初期値表示のとおり）
- (B) 音声着信を受け付ける場合、「◎ 音声着信を利用する」にチェックを変更します。
（※変更することによって、「▼着信制限機能」の欄が入力できる状態に変わります。）
- (C) 特定番号からの音声着信のみを受け付けるようにする場合、
「着信できる電話番号を限定する」にチェックを付けて、該当する電話番号を入力します。
（※ホワイトリストとして、着信を受け付ける電話番号を最大 10 件まで登録できます。）

音声着信 時間帯切替 時刻補正 集計データ

着信選択

◎ 音声着信を利用しない

○ 音声着信を利用する

▼着信制限機能

☐ 着信できる電話番号を限定する [最大半角15文字]

受け付ける電話番号【1】

受け付ける電話番号【2】

受け付ける電話番号【3】

受け付ける電話番号【4】

受け付ける電話番号【5】

受け付ける電話番号【6】

受け付ける電話番号【7】

受け付ける電話番号【8】

受け付ける電話番号【9】

受け付ける電話番号【10】

※設定例:09012345678 (ーハイフンなし)

- (6) 受話器をあげた際に電話を掛ける相手先を「時間帯に応じて切り替える」機能を利用する場合、「時間帯切替」ボタンを押して、当該条件の設定用画面に切り替えます。（※利用しない場合、変更不要）切り替えて電話を掛ける相手先の番号と、切り替える時間帯を設定します。（電話番号は「ハイフンなし」）

1. 回線設定
2. 通話設定
3. 本体機能

音声着信 **時間帯切替** 時刻補正 集計データ

切替選択

☒ 切替機能を利用しない
☐ 切替機能を利用する

利用するに変更
「▼切替発信先」の欄が
入力できる状態に変わる

▼切替発信先

電話番号 [最大半角15文字]
※設定例: 09012345678 (ー/ハイフンなし)

切替する時間帯

開始時刻: 00 時 00 分
～
終了時刻: 00 時 00 分

機能説明:
・「2.通話設定」>「自動発信先」の電話番号とは別に、
時間帯に応じて別の電話番号へ自動発信先を切替えることができます。
・本項で設定した時間帯(切替発信先電話番号)以外の時間帯は、
「2.通話設定」>「自動発信先」の電話番号宛での自動発信となります。

- (7) 「sp モード」以外へ接続する UIM カードを使用する場合、接続先の設定を変更します。
「1.回線設定」をクリックして、画面を切り替えます。

- (A) 「sp モード」の場合、変更不要です。（画面にある初期値表示のとおり）
(B) 「moperaU」の場合、画面右上の「moperaU」ボタンを押して、初期値を自動入力します。
(C) 自社の LTE 閉域網などに接続いただく場合、画面内の各設定に対応する情報を入力します。

1. 回線設定
2. 通話設定
3. 本体機能

VoLTE回線 その他

自己IPアドレス 0 0 0 0

接続先APN情報 spmode.ne.jp [最大半角32文字]

接続認証方式 CHAP(MD5) ▼

接続認証ユーザ名 user [最大半角54文字]

接続認証パスワード ●●●● [最大半角16文字]

初期値自動入力
spモード moperaU

機能説明:
電話機でVoLTE通話する際、LTE網(spモード接続を想定)を利用します。
spモード以外へ接続するUIMカードをご使用いただく場合は、
本項で別のLTE網の設定内容に変更してください。
設定例:
自己IPアドレス: 0.0.0.0
接続先APN情報: [spモード] spmode.ne.jp [moperaU] mopera.net
接続認証方式: CHAP(MD5)
接続認証ユーザ名: user (※任意内容)
接続認証パスワード: pass (※任意内容)

- (8) 画面右下の「パラメータ書込」ボタンをクリックして、本機に設定値(上記までの設定内容)を書き込みます。

パラメータ読出 パラメータ書込

10 本機の操作方法

設置後の本機で通話する際、以下の手順で操作してください。

No.	操作・確認	内容
1	AC アダプタから電源給電し、待受け状態へ切り替わるまで待つ。	(1)状態表示 LED が点滅(シアン色)を開始  (2)状態表示 LED が点灯(シアン色)に切り替わり 
2	受話器をあげて電話する。 受話器を置いて電話を切る。	● 受話器をあげると、「ツツツ」音の後に電話を掛け始めます。 ● 相手への呼出が始まると、「ブルブル」音が鳴り続きます。 ● 相手が電話に出ると、通話できます。 ● 先に電話を切る場合は、受話器を本体に戻します。 ● 相手から先に切った場合は、終話音(ブーブーブー)が鳴ります。 (※この間、状態表示 LED が点滅(シアン色)します。) ● 受話器を本体に戻すと、待受け状態に戻ります。 ● 相手が電話に出ず拒否操作した場合、ガイダンスが流れます。 ● 時間待ちしても相手が出なかった場合、終話音(ブーブーブー)が鳴ります。受話器を本体に戻して待受け状態に戻します。
3	音声着信が来たときの通知。 受話器をあげて電話に出る。 受話器を置いて電話を切る。	● 音声着信が来たとき、着信音が鳴ります。 ● 着信中は、状態表示 LED が点滅(シアン⇄緑色)します。  ● 受話器をあげると、電話がつながって通話できます。 ● その後の電話の切り方は、本機から電話を掛けた時と同じです。
4	本機をシャットダウンして電源を切る。	● シャットダウン用隠しスイッチ又は SD スイッチを長押しして、状態表示 LED が「青 ● ⇄ 赤 ●」点滅に変わることを確認します。確認後にスイッチから手を離します。 (※シャットダウンを開始すると、本表示に変わります。) ● 状態表示 LED が「緑 ●」点滅(高速)に変わればシャットダウン完了です。AC アダプタを外して、本機の電源を切ってください。

※「本機の時計情報を定期的に補正」「内蔵通信モジュールの不安定動作を検知して再起動」している間、シャットダウン中(上記のNo.4)と同じく、状態表示 LED が「青 ● ⇄ 赤 ●」点滅表示になります。

上記の処理が終了して状態表示 LED が待受け表示(シアン色で点灯)に変わるまで、暫くお待ちください。

※受話器(カールコード)を引っ張りすぎると、カールコード内の信号線が断線(故障)する可能性がありますのでご注意ください。

11 本機の仕様と機能

11.1 一般仕様

項目	内容
製品名	シンプルコールTrad/TAXI
型番	シンプルコール Trad : JK-4308 シンプルコール TAXI : JK-4309
外形寸法	D254×W204×H60mm
重量	約 1,500g
電源	AC100～240V(50/60Hz)
消費電流	0.3A 以下
ケース材質	AES
使用環境（防水性）	可燃性ガス・腐食性ガス・塵埃等無きこと （非防水）
使用温度範囲	0～40℃
使用湿度範囲	25～85%(結露なきこと)
保存温度範囲	-10～60℃
保存湿度範囲	25～85%(結露なきこと)
アンテナ	内蔵アンテナ 2 個
LED	アンテナ表示用 緑色 3 個 、状態表示用 RGB 色 1 個
押しボタンスイッチ	シャットダウン：上面隠しスイッチ、底面メンテナンス窓内
接続コネクタ	USB-TypeB（設定用）：底面メンテナンス窓内

11.2 LED 点灯パターン

(1) アンテナ LED

表示	アンテナレベル	通話可否
○○○	圏外、LTE 網が規制状態、 温度プロテクション(高温検出)状態、 内蔵通信モジュール電源 OFF 状態、 内蔵通信モジュールリセットリカバリ中	通話不可
●○○	レベル 0(超弱電界)～レベル 1(弱電界)	通話不可 (※実際の通話可否は不定)
●●○	レベル 2(中電界)	通話可 (※推奨条件外)
●●●	レベル 3(強電界)～レベル 4(超強電界)	通話可 (※推奨環境)

※通信モジュールが LTE 網につながるまでは、圏外表示になります。

※後述する特殊状態の場合、各内容を識別するためのパターン点灯表示になります。

(2) 状態表示 LED

本機の動作状態	シアン(●)		シアン(●) ⇔緑(●)	青(●) ⇔赤(●)	緑(●)	備考
	点滅(中速)	点灯	点滅(中速)	点滅(中速)	点滅(高速)	
通常モード起動中	○					時刻補正終了まで
待受けモード		○				
通話モード		○				オフフック状態
終話モード	○					終話操作中
着信拒否中	○					
着信モード			○			着信音の鳴動状態
定期時刻補正中				○		
リセットリカバリ中				○		異常状態の検知時
シャットダウン中				○		通信モジュール電源 OFF 中
電源断可能					○	シャットダウン完了

※「低速：点灯(1秒)⇔消灯(1秒)」「中速：点灯(0.5秒)⇔消灯(0.5秒)」「高速：点灯(0.5秒)⇔消灯(0.5秒)」

(3) 特殊状態を示す表示パターン

分類	状態	状態表示 LED	アンテナ LED	備考
特殊起動	設定用モード	緑(●)低速点滅	緑(●●●)低速点滅	全 LED 同時に低速点滅
環境 異常	受話器外れ(長時間)	赤(●)高速点滅	緑(●) ○ ○	10 分以上の受話器外れ
	パラメータ不正	赤(●)高速点滅	○ 緑(●) ○	▼以降の項目は全て動作停止
	UIM カード未挿入	赤(●)高速点滅	○ ○ 緑(●)	UIM カード認識不可を含む
	PIN コード照合エラー	赤(●)高速点滅	○ 緑(●) 緑(●)	直ぐに PIN コード変更が必要
ハード 故障	通信モジュール異常	赤(●)点灯	○ 緑(●) ○	電源 ON 不可/初期設定失敗継続
	チェックサム異常	赤(●)点灯	○ ○ 緑(●)	Flash ROM(プログラムデータ)異常
	SRAM 異常(R/W)	赤(●)点灯	緑(●) ○ 緑(●)	
	EEPROM 異常(R/W)	赤(●)点灯	○ 緑(●) 緑(●)	

11.3 メンテナンス用の機能

本機は、以下のメンテナンス用の機能を有しています。

No.	機能	内容
1	動作ログ情報の記録	本機が動作した各種情報をログとして記録します。(最新 1000 件分) 設定ソフトで読み出して、参照およびファイルに保存できます。 ⇒「上手く動作しないとき」や「異常が発生した」際に、動作ログを読み出して参照することで解決の糸口となる情報を把握し易くなります。
2	通話操作時間の記録	「通話操作した時間」と「相手の電話番号」を 1 件ごとに記録します。 設定ソフトで本機能を使用する条件に設定すると、最大 2000 件までの情報を記録できるようになります。 設定ソフトで読み出して、参照およびファイルに保存できます。
3	本機のソフトウェア書替え	設定ソフトを用いて、本機のソフトウェアを書き換えることができます。

機能の詳細については、「シンプルコール(シリーズ)設定ソフト取扱説明書」をご参照ください。

11.4 受話器（通話時）の音量設定

- 受話器(通話時)の「マイク」「イヤホン」音量は、設定ソフトで調整できます。
- 「受話器(ハンドセット)の音量設定[大]」の設定値が有効になります。

1.回線設定

2.通話設定

3.本体機能

▼自動発信先
電話番号 [最大半角15文字]
※設定例:09012345678 (ー/ハイフンなし)

機能説明: 利用者が受話器を上げた際に、本項の「電話番号」へ電話機から自動発信されます。
自動発信先の「電話番号」を入力します。

▼受話器(ハンドセット)の音量設定[大] (※工場出荷時デフォルトスイッチ選択側)

マイク:ゲイン値 [0(低い)~19(高い)]

イヤホン: 音量 [0(低い)~10(高い)]

▼受話器(ハンドセット)の音量設定[小]

マイク:ゲイン値 [0(低い)~19(高い)]

イヤホン: 音量 [0(低い)~10(高い)]

機能説明: 電話機本体の上蓋を取り外すと、【CF0 ON(SW4)】スイッチがあり、受話器の音量を2段階(ON⇔OFF)で切り替えることができます。
本項は、ON(音量:大)及びOFF(音量:小)用の音量レベルをそれぞれ割り当てます。

12 うまく動作しないとき

上手く動作しないときは、次の内容をご確認ください。

No.	上手く動かない内容	確認するポイント
1	設定ソフトで読み書きできない	(A) USB ケーブルが「データ転送」できるタイプであるかどうか。 ⇒ 「充電のみ」のタイプは使用できません。 (B) デバイスマネージャーに表示される COM ポートに警告マークが付いている場合。 ⇒ USB ドライバをインストールしてください。 (FTDI 社のホームページからダウンロードできます。) ※詳細については「シンプルコール(シリーズ)設定ソフト取扱説明書」をご参照ください。 (C) パソコンに複数の COM ポート (通信用ケーブル) が割り当てられている場合。 ⇒ 該当する COM ポートを選択して本機と通信してください。 (D) 「.Net Framework 3.5」がインストールされていない場合。 ⇒ 「.Net Framework 3.5」をインストールしてください。 ※詳細については「シンプルコール(シリーズ)設定ソフト取扱説明書」をご参照ください。
2	アンテナ LED が点灯しない 受話器をあげても電話を掛け始めない(直ぐにプープー音)	(A) 「UIM カード(SIM)の契約時に割り当てた接続先(APN)」と「本機の APN 設定」内容が合っていない場合。 ⇒ UIM カードの契約に合わせてパラメータ設定してください。 (B) 電波感度が極端に悪い場合 (圏外)。 ⇒ 設置場所の環境をご確認ください。 ※2 本以上(推奨 3 本)のアンテナ LED 表示環境でご使用ください。 (C) 状態表示 LED が「青(●)⇔赤(●)」点滅の場合。 ⇒ この間は通話できませんので、待受け状態(シアン点灯)になるまで暫くお待ちください。 ※この表示は、通信モジュール再起動中などを表しています。
3	待受け状態に切替らない (※状態表示 LED がシアン点灯で待受け状態)	(A) 「時間帯別の発信先切替」「通話操作時間の記録(集計)」機能を使用する設定にしている場合。 ⇒ 「No.2 の(A),(B)」と同じ要因をご確認ください。 ※現在時刻を扱う上記の機能を使用する場合、ネットワークから時刻情報を取得できるまでは、待受け状態に切り替わりません。 (B) 状態表示 LED が赤(●)色で点灯/点滅する場合。 ⇒ 「No.8,9」の要因をご確認ください。
4	受話器をあげてツツ音が鳴った後、呼出し音が鳴り始まらない	(A) 電波感度が弱い場合、相手の呼出しまで進まずに暫く無音の状態になることがあります。(時間待ちしてもつながらない場合は、断念して終話します。(プープー音が鳴ります。)) ⇒ 2 本以上(推奨 3 本)のアンテナ表示環境でご使用ください。
5	通話内容が聞こえない	(A) 受話器(ハンドセット)の音量設定が小さい場合。 ⇒ パラメータ設定で音量値の割り当てを少し上げてください。 ※初期値は「マイクゲイン：11」「イヤホン音量：6」です。
6	音が割れて聞こえる 音が大きすぎて耳が痛い	(A) 受話器(ハンドセット)の音量設定が大きい場合。 ⇒ パラメータ設定で音量値の割り当てを少し下げてください。 ※初期値は「マイクゲイン：11」「イヤホン音量：6」です。

No.	上手く動かない内容	確認するポイント
7	本機宛てに電話を掛けても、着信音が鳴らない	(A) 「音声着信を利用しない」設定(初期値)になっている場合。 ⇒ パラメータ設定で「音声着信を利用する」に変更してください。 ※利用しない設定の場合、本機は音声着信拒否(切断)します。 (B) 「着信できる電話番号を限定」する設定にしている場合。 ⇒ パラメータ設定で「受け付ける電話番号」を追加してください。 ※ホワイトリスト(最大 10 件)に無い相手から音声着信が来た場合、本機は音声着信拒否(切断)します。
8	給電しても、LED が何も点灯しない	(A) AC アダプタのプラグ(本機内部の基板上)が外れている場合。 ⇒ ケース(ビス固定)を開けて、プラグを差し込んでください。
9	給電すると、状態表示 LED が赤点滅する	(A) アンテナ LED が「○●○」(※2 個目が点灯)表示の場合。 ⇒ 「パラメータ設定が不足している状態」を表しています。 パラメータ設定内容をご確認ください。 ※設定ソフトで動作ログを讀出し/参照すると、不足と判断しているパラメータ情報を確認できます。 (B) 暫く動作してから状態表示 LED 点滅が「シアン→赤」となり、アンテナ LED が「○○●」(※3 個目が点灯)表示の場合。 ⇒ 「UIM カードが未挿入の状態」を表しています。 UIM カード(SIM)を取り付けてください。 ⇒ 取り付けてある場合、IC 部分を乾いた布などで拭いてから再度取り付けてください。 (C) 暫く動作してから状態表示 LED 点滅が「シアン→赤」となり、アンテナ LED が「○●●」(※2,3 個目が点灯)表示の場合。 ⇒ 「PIN コード照合エラーの状態」を表しています。 正しい PIN コード(4～8 桁)パラメータを設定してください。 ※照合エラーを 3 回繰り返しますと、ロックして使用できない状態になります。専用コード(PUK コード)による解除手続き(通信キャリア等への依頼)が別途必要になりますのでご注意ください。
10	給電すると、状態表示 LED が赤点灯する	(A) 本機の故障状態を表しています。 ⇒ 修理が必要ですので、販売店(窓口)に修理をお申し付けください。(無償修理規定は保証書をご参照ください。) ※アンテナ LED の点灯パターンで異常内容を判別できます。 (「11.2 (3)」項を参照)
11	給電して待受け状態まで進んだ後、受話器を置いているが終話音(ツーツー)が鳴る	(A) 受話器が本体のフックに上手く掛かっていない場合。 ⇒ 受話器を本体に掛け直してください。 ※なお、長時間(10 分以上)受話器が外れている状態を検知した場合は、「状態表示 LED : 赤点滅」「アンテナ LED : ●○○(1 個目が点灯)」の表示になります。
12	受話器をあげても稀にしか電話が掛からず(※音声着信はつながる)、設定ソフトで動作ログを見ると、LTE 網からの切断が頻発している	(A) 本機は LTE 網に接続して VoLTE 通話しますが、UIM カードに「接続先の ISP サービスが割り付けできていない」「対象 ISP サービスの設定間違い」の可能性が考えられます。 ⇒ 通信回線契約の申込先に、ISP サービス(sp モードや moperaU)の割り付け状態をご確認ください。 ⇒ もしくは、本機の設定(接続先 APN)をご確認ください。

No.	上手く動かない内容	確認するポイント
13	「No.2,4,7,12」の要因には該当しないが、電話がつながらなくなった	(A) VoLTE 通話(回線接続)するためにはネットワーク側と回線交換できる状態になっている必要があり、何らかの要因で回線情報の不一致が発生している場合、回線接続できなくなります。 ⇒ 以下の操作を実施いただくことで、通信モジュールがネットワークへ再接続し、回線情報の不一致状態を解消します。 ● 受話器をあげてツツ音を確認した後、受話器を置く ● 上記の操作(回線接続失敗)を複数回繰り返す (※) ● 状態表示 LED が「青(●)⇔赤(●)」点滅を開始する ※繰り返す回数は、設定内容に応じて異なります。

※上記(A)～の内容で解決しない場合、故障等の可能性が考えられます。

その際は、当社営業窓口までお問合せください。

【お問合せ窓口】

窓口： 株式会社ハネロン TEL 072-948-1155 E-mail : <electric_sales@haneron.co.jp>

電話お問合せの受付時間： 平日 9 時～17 時

※E-mail によるお問合せは、当社ホームページ <https://www.haneron.com/> の「お問い合わせ」フォームをご利用いただけます。

13 改訂履歷

[illegible]